平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月８日

上 場 会 社 名	応用地質株式会社		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	9755	URL	http://www.oyo.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	成田　賢
問合せ先責任者	（役職名） 取締役常務執行役員 事務本部長	（氏名）	河野　啓三　(TEL) 03 (3234) 0811
四半期報告書提出予定日	平成25年８月13日	配当支払開始予定日	平成25年９月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有　（　機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	23,564	6.6	2,559	13.9	2,742	1.5	1,723	△65.4
24年12月期第２四半期	22,111	16.2	2,247	166.1	2,703	102.4	4,984	484.4

(注)包括利益　25年12月期第２四半期　4,434百万円(△23.2%)　24年12月期第２四半期　5,773百万円(462.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第２四半期	63.65	―
24年12月期第２四半期	184.04	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第２四半期	70,548	58,807	83.0
24年12月期	65,485	54,620	83.0

(参考) 自己資本 25年12月期第２四半期　58,557百万円　24年12月期　54,383百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	6.25	―	8.75	15.00
25年12月期	―	9.00			
25年12月期(予想)			―	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	10.6	2,800	13.6	3,200	△4.0	1,900	△67.0	70.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　有
④　修正再表示　　：　無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、【添付資料】Ｐ．５「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	32,082,573株	24年12月期	32,082,573株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	5,003,154株	24年12月期	4,999,429株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	27,081,370株	24年12月期２Ｑ	27,083,595株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
（４）追加情報 ……5
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……5
４．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12
（７）重要な後発事象 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、長期化する欧州債務問題、中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況が続いていますが、我が国経済は、新政権の金融緩和、財政出動などによる景気回復への期待感から、円安の進行、株価の上昇が見られました。

このような中で、当社グループは、中期経営計画OYO Hop 10の取り組みを推進するとともに、震災復旧・復興関連事業や全国の地震防災関連事業のニーズに積極的に対応いたしました。

この結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間は、他社と差別化できた得意分野を中心に受注を伸ばし、受注高は、249億５千４百万円（前年同期比122.1%）と増加しました。売上高は、235億６千４百万円（同106.6%）と増収となりました。

損益は、前期に比べて売上原価が増加する傾向にありましたが、増収に加え販売費及び一般管理費を削減したことにより、営業利益は25億５千９百万円（同113.9%）、経常利益は27億４千２百万円（同101.5%）とそれぞれ増益となりました。

一方で、四半期純利益は17億２千３百万円（同34.6%）と減益となりました。これは、前期は当社グループが保有するOYO Geospace社の株式の売却益（59億６千３百万円）が特別利益に計上されていたためです。

当第２四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

① 調査・コンサルティング事業

当第２四半期連結累計期間における当事業の受注高は、震災関連分野と地震防災関連分野が伸長するとともに、地震防災分野の大型業務を受注したことから、203億５千２百万円（前年同期比132.4%）となりました。前期から繰越した受注残を順調に完成し、売上高176億３千５百万円（同103.2%）、営業利益18億５千６百万円（同111.9%）と増収増益になりました。

② 計測機器事業(国内)

当第２四半期連結累計期間における当事業の受注高は、前期に地震防災分野の大型業務を受注していた反動で、14億６千５百万円（前年同期比63.3%）と減少しました。また、前期に受注した大型業務を売上に計上した結果、売上高24億７千５百万円（同176.2%）、営業利益６億１千１百万円（同248.4%）と増収増益となりました。

③ 計測機器事業(海外)

当第２四半期連結累計期間における当事業の受注高は、31億３千６百万円（前年同期比113.9%）と増加しました。売上高は、34億５千３百万円（同95.4%）と減収となり、一部の案件が高原価であったことに加え、研究開発費などの販売費及び一般管理費の増加により、営業利益が８千７百万円（同26.7%）と減益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ50億６千３百万円増加し、705億４千８百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ40億６千６百万円増加し、471億９千５百万円となりました。これは主として、当社グループの調査・コンサルティング事業において、営業債権の回収が進んだことにより完成業務未収入金が25億４千６百万円減少する一方で、現金及び預金が63億５百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ９億９千６百万円増加し、233億５千２百万円となりました。これは主として、投資有価証券が９億８千６百万円増加したことによります。

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ８億７千６百万円増加し、117億４千１百万円となりました。これは主として、未払法人税等が７億４千９百万円増加したことにより流動負債が６億５千８百万円増加したこと、及び固定負債が２億１千８百万円増加したことによります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ41億８千６百万円増加し、588億７百万円となりました。これは主として、四半期純利益を17億２千３百万円計上したことにより利益剰余金が増加し、株主資本が14億８千１百万円増加したこと、及び円安の影響により為替換算調整勘定が23億９千２百万円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は83.0％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、69億３千１百万円増加（前年同期比76.0％）し、235億３千５百万円（同108.8％）となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、56億７千９百万円（前年同期比101.4％）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益27億２千８百万円（同32.3％）、売上債権の減少額19億７千２百万円（同155.7％）、たな卸資産の減少額11億８千９百万円（同90.1％）があったことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、９億９千万円（前年同期比28.1％）となりました。

これは主として、定期預金の預入による支出17億３千６百万円（同30.7％）等の資金の減少要因があった一方で、定期預金の払戻による収入25億６千１百万円（前年同期は２億円の資金増）等の資金の増加要因があったことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、４億１千万円（前年同期比131.9％）となりました。

これは主として、配当金の支払額２億３千６百万円（同140.0％）があったことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期累計期間の業績が前述のように順調に推移したことに加え、大型予算の執行に伴い受注高が増加したことから、第３四半期以降の増収を見込むことができるため、平成25年12月期の当社グループの連結業績予想を、次のように修正いたします。

・売上高 450億円（期初予想比104.7％）
・営業利益 28億円（同112.0％）
・経常利益 32億円（同106.7％）
・当期純利益 19億円（同105.6％）

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

一部の連結子会社においては、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法により計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

（４）追加情報

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,471	26,777
受取手形及び売掛金	1,129	1,929
完成業務未収入金	10,098	7,552
リース債権及びリース投資資産	648	829
有価証券	2,313	2,229
未成業務支出金	3,315	2,571
商品及び製品	746	837
仕掛品	1,141	844
原材料及び貯蔵品	1,445	1,521
その他	1,837	2,116
貸倒引当金	△19	△13
流動資産合計	43,129	47,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,058	4,959
土地	6,843	6,863
その他（純額）	1,070	1,110
有形固定資産合計	12,972	12,934
無形固定資産	397	415
投資その他の資産		
投資有価証券	5,425	6,412
その他	4,224	4,245
貸倒引当金	△664	△654
投資その他の資産合計	8,985	10,002
固定資産合計	22,355	23,352
資産合計	65,485	70,548

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	552	655
業務未払金	1,476	1,136
短期借入金	1	0
未払法人税等	329	1,079
賞与引当金	266	394
受注損失引当金	80	19
その他	3,941	4,020
流動負債合計	6,647	7,306
固定負債		
長期借入金	0	－
退職給付引当金	2,158	2,128
その他	2,057	2,306
固定負債合計	4,216	4,434
負債合計	10,864	11,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,174	16,174
資本剰余金	16,523	16,523
利益剰余金	33,583	35,070
自己株式	△5,061	△5,067
株主資本合計	61,220	62,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194	494
土地再評価差額金	△2,617	△2,617
為替換算調整勘定	△4,413	△2,021
その他の包括利益累計額合計	△6,836	△4,144
少数株主持分	237	249
純資産合計	54,620	58,807
負債純資産合計	65,485	70,548

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	22,111	23,564
売上原価	15,066	16,330
売上総利益	7,045	7,233
販売費及び一般管理費	4,797	4,674
営業利益	2,247	2,559
営業外収益		
受取利息	33	46
受取配当金	33	29
持分法による投資利益	311	－
不動産賃貸料	24	26
受取保険金及び配当金	－	19
その他	96	72
営業外収益合計	500	193
営業外費用		
支払利息	3	1
投資事業組合運用損	30	－
不動産賃貸原価	9	7
その他	0	0
営業外費用合計	44	10
経常利益	2,703	2,742
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	0	3
関係会社株式売却益	5,963	－
その他	－	0
特別利益合計	5,966	5
特別損失		
固定資産売却損	14	0
固定資産除却損	2	1
投資有価証券評価損	202	18
その他	6	－
特別損失合計	226	19
税金等調整前四半期純利益	8,443	2,728
法人税等	3,433	984
少数株主損益調整前四半期純利益	5,009	1,744
少数株主利益	25	20
四半期純利益	4,984	1,723

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,009	1,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	299
為替換算調整勘定	708	2,390
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	－
その他の包括利益合計	763	2,690
四半期包括利益	5,773	4,434
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,747	4,416
少数株主に係る四半期包括利益	25	18

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,443	2,728
減価償却費	420	422
持分法による投資損益（△は益）	△311	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	427	115
受取利息及び受取配当金	△67	△75
関係会社株式売却損益（△は益）	△5,963	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,266	1,972
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,319	1,189
仕入債務の増減額（△は減少）	△715	△310
その他	1,108	△37
小計	5,927	6,004
利息及び配当金の受取額	67	75
利息の支払額	△3	△1
法人税等の支払額	△405	△464
法人税等の還付額	17	66
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,602	5,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,659	△1,736
定期預金の払戻による収入	200	2,561
有価証券の取得による支出	△0	△8
投資有価証券の取得による支出	△908	△1,089
有価証券の売却による収入	903	787
投資有価証券の売却による収入	107	589
関係会社株式の売却による収入	9,110	－
有形及び無形固定資産の取得による支出	△299	△275
有形及び無形固定資産の売却による収入	25	2
その他	39	157
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,519	990
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50	－
長期借入れによる収入	2	－
長期借入金の返済による支出	△41	△0
自己株式の取得による支出	△0	△5
配当金の支払額	△169	△236
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△49	△165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311	△410
現金及び現金同等物に係る換算差額	309	672
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,120	6,931
現金及び現金同等物の期首残高	12,518	16,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,639	23,535

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	調査・コンサルティング事業	計測機器事業（国内）	計測機器事業（海外）	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,085	1,405	3,621	22,111	―	22,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	389	182	572	△572	―
計	17,085	1,794	3,804	22,684	△572	22,111
セグメント利益	1,658	246	328	2,233	14	2,247

（注）１．セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	調査・コンサルティング事業	計測機器事業（国内）	計測機器事業（海外）	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,635	2,475	3,453	23,564	―	23,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	448	169	617	△617	―
計	17,635	2,923	3,622	24,181	△617	23,564
セグメント利益	1,856	611	87	2,555	4	2,559

（注）１．セグメント利益の調整額４百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。